

2017年

224号

1月18日(水)

ねんきん越谷

全日本年金者組合越谷支部

〒343-0845

埼玉県越谷市南越谷2-13-49

(越労連内)

TEL・FAX 048-989-2472

E-mail keyaki-n@biscuit.ocn.ne.jp

賀正

支部長
副支部長
書記長
書記次長

吉田 健治
宇佐美 美
森山 本
山本 十嵐
伊藤 藤
樋口 田
吉田 田
和田 雄

健治 勝利
忠司 勝郎
英範 光男
昭男 正雄

会計監査

足立 秀人
伊東 幸男
大野 三郎
栗原 昂
木暮 依子
瀬川 依子
田口 小
広瀬 久雄
保坂 一歩
松本 久子
森田 秀夫
香田 文子
小口 文子



今年もよろしく
お願いします



支部長 吉田 健治

年金者組合はその先頭に立って全力を尽くします。

年金者組合は
市民、高齢者の命と
健康を守ります

新年を迎えお慶びを申し上げます。さて昨年は国民・市民の平和と生活の両面とも安倍自民党・公明党・(維新の会)政権で苦しめられてきました。安倍政権は「戦争法」「TPP」「原発再稼働」・・・等。どうしてこんなにも悪政が続くのでしょうか。「イカリ」は私だけでしょいか。特に高齢者の私たちにとって生きていくための源である「年金」が毎年切り下げられていることです。

第二次世界大戦も経験してきました。戦後の苦しい時代ものりこえてきました。現役時代は働く仲間と団結し、自民党政権の悪政を質してきました。高齢者の医療費無料化や社会保障、教育、医療の充実、保育所の拡大に向けて運動を進めてきました。

韓国では100万人以上の国民が集会やデモを毎週実施し、朴大統領を罷免しようとしています。日本でも国会を包囲し「戦争法反対」「安倍はやめよ」と国民の統一総行動の力となりました。昨年の参院選でも市民と野党の統一で大きな

成果を勝ち取りました。私たち年金者組合も全国の仲間たちと連帯し行動に参加しました。毎月10名の執行委員会、機関紙「ねんきん越谷」を発行してきました。さらに駅頭宣伝も毎月8、10名が「戦争法反対、原発ゼロ、TPP反対」等月々の国民の運動に連帯して行動してきました。「年金は切下げな」「年金切下げは憲法違反だ。裁判に勝利するぞ」「市民の生活、高齢者の生きがい奪うな」とビラを配布し、署名を集め、マイクで訴え、宣伝に全力をつくしてきました。

新年を迎え、今年は「生きがいを第一に安倍自公政権に負けないよう学習に力を強めたい」さらに年金者組合の仲間づくりを広げていきます。

高齢者が安心して余生が過ごせる社会、市政にそういう立場の指導者(市長)を選出していきましょう。

点晴

今年も「年金改悪反対」

「庶民のための政治を」の声を挙げ続けよう

◆昨年末の臨時国会でTPP関連法、カジノ推進法とともに私たちの生活に重大な影響をもたらす「年金カット法」が自民・公明・維新の数の力で強行成立させられた。◆「年金カット法」の柱は二つ。一つは「賃金・物価の下げ幅が大きい方に合わせて年金をカットする」もので21年4月から施行◆もう一つは、「マクロ経済スライド」を強化して年金をカットするもので今年4月から施行◆見方を変えれば年金カットの本格実施まであと4年もあるということになる◆もしこの間に政権が変わったり、野党連合政権ができたなら、あの韓国のようにまたEUI脱退を決めたイギリスのようにドラスティックな変化だって起こり得るではないか◆すべてを肯定的に評価するわけではないが、トランプ大統領だって選挙で国民が選んだ、つまり一人ひとりの国民の選択だったのである◆「そんなこと言ったら日本は違う」「安倍内閣の支持率は高いじゃないか」という声が聞こえてきそうである◆そこでさらに一歩進めて考えようではないか。安倍内閣の高支持率は「ウソと偽り」で作られたもの、それをTVはじめ大メディアが無批判に報道しているからではないだろうか◆そんな中でも年金問題でいえば、臨時国会で年金受給の資格期間が25年から10年に短縮された。これは私たちの要求であった。負け続きだけではないのである◆もう一つ、私たちが主張し続けている「最低保障年金」を社説で掲げる地方紙も出てきた◆年金受給者は4千万人以上。年金が仮に100円下がれば40億円消費が減る。これで景気が良くなるはずがない◆要は「1%のための政治」か「99%のための政治」かである。私たちは当然99%陣営◆「奢れるもの久しからず」。一つきっかけがあれば安倍政治だって転げ落ちるの早い。それを信じて声を挙げ続けようではないか。

(山本 英郎)